

周南クラブ

選手、スタッフ、保護者の皆様へ

平成 19 年度に周南クラブを卒業しました堀家拓馬と申します。この度は、第 42 回全日本少年軟式野球大会お疲れ様でした。また、周南クラブ結成 30 周年誠にありがとうございます。

横浜スタジアムでの星稜中学校さんとの試合を拝見させていただき、大変感銘を受けました。試合は残念な結果ではありましたが、点差がついても、最後の最後まで懸命にプレーする姿や、仲間を鼓舞し続ける姿勢などを見て思わず涙が出ました。星稜中学校さんの勝負に対する執念も合わせて、甲子園に負けないぐらいの美しい中学生の姿をみることができ、私自身の明日からの活力となりました。本当にありがとうございました。

試合だけでなく、その後のミーティングに対する姿勢や、人に対しての挨拶や立ち振舞いを見て、まさしく「考動力」の象徴であると感じました。周南クラブを卒業して約 20 年近く経とうとしておりますが、中学生の多感な時期に勝ち負けだけでなく、「考動力」や「人間力」について教えていただいた経験は今になり、ものすごく大切なことであると痛感しております。

選手の皆さん、今回の試合は大変貴重な経験になります。その裏には、保護者やスタッフの方々の温かいご支援があつてのものです。試合は「試し合い」です。3 年間やってきたことを全て出し切り、試し合い、次の全国中学生都道府県対抗野球大会では「日本一」をつかみとって、有終の美を飾ってください。すばらしい景色が次のステージの糧になると思います。そして、受験という大きな勝負にも堂々と立ち向かってください。微力ながら応援しております。

平成 19 年度卒業 堀家 拓馬

